

# 陶芸～たたらづくり～

## 1 活動の概要

土の感触を味わいながら、成形の一つひとつの工程を通して、陶芸の技術を学ぶとともに、思い思いの作品作りに取り組むことができます。オリジナルの作品を作り上げることで創造性や活動意欲を高めることができ、喜びや楽しさを体験させることができます。

## 2 ねらいとして考えられるもの

創作活動を通して、創造性や感性を育む

## 3 活動時期

通年

## 4 活動場所

創作工作室または研修室（1か2）

※その日の利用状況や人数によってネイパル職員が活動場所を調整します。

## 5 活動人数

少人数～40人程度（活動場所によって異なります）

## 6 所要時間

2時間30分～3時間（準備、制作、後片付けまでを含めての時間です）

## 7 指導依頼について

- (1) 基本的には、引率（担当）者の方に直接指導していただきます。事前打ち合わせに来所した際に作成手順について、ネイパル職員が引率（担当）者の方に指導します。
- (2) どうしても団体に指導できない場合は、ネイパル職員が指導しますが、他の利用団体の活動状況やネイパル職員の勤務の関係上、全ての指導依頼に答えられない場合があります。
- (3) 指導依頼をした場合でも、全ておまかせの状態にならないよう、参加者の掌握や安全管理について指導補助をお願いします。

## 8 団体に準備するもの

### (1) 参加者

エプロン（粘土で汚れるため、必要に応じてご用意ください）

### (2) 引率者

陶芸用粘土（ネイパルで購入も可 2人用1セット 300円）

引率者及び参加者の役割分担（必要に応じて事前研修）

当日の座席割り（1テーブル4～5人です）

9 ネイパルで貸し出しできるもの

- 陶芸製作用具一式（40人分程度） □新聞紙 □掃除用具  
□ふきん（陶芸用、机用、床用）

10 活動に関わって

(1) 荒天時用のプログラムとしては、注文できませんのでご注意ください。

(2) 実施上の留意点

- ①粘土が乾燥するとひびが入りますが、どべでうめると問題ありません。
- ②1つのテーブルには4～5名で座っていただきますので、事前にグループ分けをお願いします。
- ③引率（担当）者が指導する場合は、自由な作品を作ることとも可能ですが、作品は一人一作品とし、大きさは直径3cm以上15cm未満程度のものにしてください。
- ④成形が終わったあと、乾燥に3～4週間かかります。
- ⑤乾燥後素焼き、釉がけ、本焼きがあります。完成まで3～4か月程かかります。完成後は直接取りに来ていただくか着払いでの発送となります。

(3) 展開例（1テーブル4～5人程度）

活 動	内 容	時間例
用具の準備	①個人で準備するもの 粘土板（1）たたら板（2）パイプ（長1,短1）資料（1） 新聞紙（1）はし（1）はさみ（1）粘土（2人で1つ） 陶芸用ふきん（1） ②テーブルごとに準備するもの おわん（足し水用1、どべ用1）へら なめし革・スポンジ ふきん（机用、床用）	10分
説明	①事前に型紙とはさみを配布して、切り抜いておく。使い終わった はさみは元に戻し、型紙以外のゴミはゴミ箱へ捨てておく。 ②陶芸用ふきんを濡らしてかたくしぼり（乾燥を防ぐのに使う）、 おわん1つに水を入れる（おわんに半分くらい）。粘土を使わな い時は、乾燥を防ぐため、ぬれ雑巾でくるむようにする。 ③身の回りの整理を心がける。 （新聞紙はぬれると使えなくなる。） ④成形の工程まで実施することの確認。	10分

<p>創作手順</p>	<p>①粘土を配布し、へらやはしを使って半分に分ける。</p> <p>②粘土を練る…<sup>ね</sup>体重をかけて手のひらで練り（30秒ほど）、できたらひとまとめにする。（この時に、空気が入らないように気を付ける。空気が入れば、焼くときに爆発したり割れたりすることがあるため。）</p> <p>※乾燥している場合は、粘土の中心をくぼませ、水を少し加えつつみ込み練る。</p> <p>③板を作る…粘土板の両側にたたら板を置き、真ん中に粘土の固まりをのせ、手のひらである程度ひらたくし、長いパイプでたたら板の厚さまでのばす。</p> <p>④部品を切り取る…型紙をあてて、へらで切り取る。</p> <p>※余った粘土はひとまとめにし、ぬれた雑巾でくるんでおく。</p> <p>⑤どべ(のり)を作る…もう1つのおわんに余り粘土（親指1本分くらいの量）と水を1:1の割合で(各テーブルに1)入れ、こねてどろどろの状態にする。</p> <p>※各テーブルで早く終わった参加者が作る。</p> <p>⑥部品をつける…必ず、重なる部分の両側に、キズをつけてどべをぬり、接着する。</p> <p>ア) 短いパイプに新聞紙をまく。（パイプと新聞紙の端を合わせてまきつける。）</p> <p>イ) 側面の粘土をまきつける。（上記同様に）</p> <p>ウ) 重なる部分を接着する。</p> <p>エ) 底も同じ要領で接着する。</p> <p>オ) 形がくずれないようにパイプと新聞紙をぬきとる。</p> <p>⑦角をとる…なめし革・スポンジを水でぬらし、角をなでる。</p> <p>※指でならしても良いです。</p> <p>⑧模様をつける…好きな形を作る。</p> <p>※必ず重なる部分の両側に、キズをつけてどべをぬり、接着する。</p> <p>⑨名前を書く…できたら底に名前を書き、指導者に見せる。</p> <p>※青いコンテナに作品を置く。はがれたり壊れたりしそうなものは直す。</p> <p>⑩完成</p>	<p>1～2時間</p>
<p>後片づけ</p>	<p>①使用した用具は濡れた陶芸用ふきんで粘土をきれいに拭きとる。（たたら板、粘土板は水洗いしないでください。）</p> <p>②テーブルの上をきれいに拭く。</p> <p>③いすをテーブルの上にあげて、床を掃く。</p> <p>④流しまわりの床が汚れていたらぞうきんで拭く。</p> <p>⑤引率（担当）者による点検</p> <p>⑥終了</p>	<p>20分</p>